

滋賀からはじまる、世界がかわる。

SHIGA TECH PLANTER 2026

滋賀から生まれた近未来技術で事業をつくる

地域に根ざした企業との連携で エコシステムを構築する



滋賀発成長産業発掘・育成
コンソーシアム

「滋賀発成長産業発掘・育成コンソーシアム」は、滋賀県の強みを活かした滋賀発成長産業の発掘・育成と、これらを支える取り組みが自立・継続的に行われるベンチャー・エコシステムの形成を図り、もって滋賀県産業の振興・発展および地域の活性化につなげることを目的とした、「滋賀発成長産業の発掘・育成に関する連携協定」の締結を機に結成されました。



滋賀県

滋賀大学



滋賀医科大学



滋賀県立大学



長浜バイオ大学



未来を、心を、動かす。

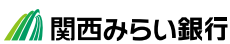
びわこ成蹊スポーツ大学



立命館大学



立命館大学



関西みらい銀行



滋賀銀行



滋賀県産業支援プラザ

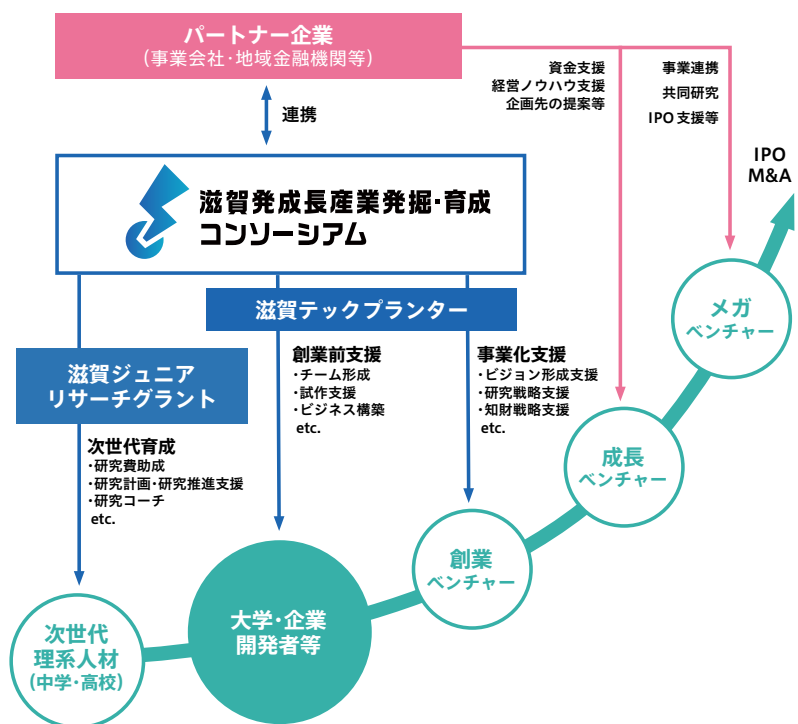


Leave a Nest

Vision

滋賀から世界へ。 新産業が生まれ続ける エコシステムの構築

グローバル競争が一層激化する中、新たな成長分野を切り拓き、滋賀県の成長を牽引する研究開発型メガベンチャーが、ここ滋賀から生まれる可能性はあるでしょうか。ベンチャー企業の聖地といえば、これまでに多くの名だたるベンチャー企業が誕生したシリコンバレーが挙げられます。琵琶湖という豊かな水環境があり、その周りを取り囲むかのように、研究に力を入れる大学とグローバル企業の研究開発拠点が集積している滋賀県には、独自の特徴を生かした「シガコンバレー」となり得る素地が揃っているのではないのでしょうか。「社会の課題を科学・技術で解決する」という研究者の情熱をかたちにすることこそが、新たな産業の種になるはずです。ゼロからイチを生み出す・支援する環境を整え、持続可能なかたちで研究者のチャレンジを応援し、滋賀県における研究シーズを産業へと結びつけていく。そのために滋賀発成長産業発掘・育成コンソーシアムは組織され、活動を続けています。



※滋賀県とシリコンバレーを同縮尺にて比較



きっかけは、たった一つの問いから始まった

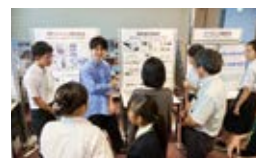
世界を変える事業が、滋賀県から自立・継続的に
創出されるエコシステムを構築できないか？

これまでに参画いただいたパートナー企業

オプテックス株式会社 / オムロン株式会社 / 株式会社関西みらい銀行 / グンゼ株式会社
京セラ株式会社 / 株式会社滋賀銀行 / 滋賀中央信用金庫 / 株式会社SCREENホールディングス
タカラバイオ株式会社 / 東洋紡株式会社 / 東レ株式会社 / ニプロ株式会社 / 株式会社橋本建設
パナソニック株式会社 アプライアンス社 (当時) / 株式会社フォーカスシステムズ
三井化学株式会社 / ヤンマーホールディングス株式会社

これまでの活動

- 2016 ● 第1回滋賀テックブラングランプリ開催(滋賀県委託事業)
事業化加速プログラム「リアルテックススクール」開始
- 2017 ● 「滋賀発成長産業・発掘育成に関する連携協定」締結
「滋賀発成長産業・発掘育成コンソーシアム」を11機関で発足
滋賀ジュニアリサーチグラント開始
- 2018 ● 大学発ベンチャー認定制度設置を支援(滋賀大学、滋賀県立大学 他)
- 2019 ● 事業化加速プログラム「投資検討プレゼン会」開始
- 2020 ● 「滋賀テックプランター試作支援補助金」開始
アントレプレナーラボツアー実施
- 2021 ●
- 2022 ●
- 2023 ● びわこ成蹊スポーツ大学がコンソーシアムに参画し、12機関での運営へ
- 2024 ●
- 2025 ● 第10回滋賀テックブラングランプリ開催
滋賀テックブラングランプリ10周年記念パネルセッション
「地域企業×スタートアップでひらく、新事業の扉〜共創が生み出す、自社の次なる柱〜」開催
首都圏の支援団体・投資家等向けのアラムナイピッチイベント「Bloom SHIGA Startup Pitch in Tokyo」開催



Achievement

10年間で18の ディープテック系 ベンチャーが誕生

エントリー数	245チーム うち78チームはエントリー時点で法人化済み
ファイナリスト数	90チーム
最優秀賞／企業賞	10件／75件
新規法人設立	18件
パートナー企業	のべ76社
次世代育成	61チームの中高生を採択 うち27件の賞を授与

滋賀テックプランターから生まれたベンチャー企業

株式会社みんなの奥永源寺 / 株式会社ポーラスタースペース(滋賀医科大学) / 株式会社イヴケア(滋賀大学)
株式会社ノベルジェン(長浜バイオ大学) / 株式会社ソニックアーク(立命館大学) / 合同会社 mitei(滋賀大学)
株式会社レナートサイエンス / FiberCraze株式会社 / 株式会社バイोजップコード(滋賀医科大学)
株式会社Blue Planet Sencing(滋賀医科大学) / ディナレッジ株式会社(滋賀大学)
株式会社Medpreneur(滋賀医科大学) / 株式会社 想造技研 / 株式会社ぴあノバ(滋賀県立大学)
87株式会社 / ドリギー株式会社(立命館大学) / 株式会社EqualFrontiers / 合同会社T-Forest

エントリーチームの実績(一部抜粋)

● 株式会社イヴケア(滋賀大学発ベンチャー)

- ⇒2024年 株式会社フォーカスインキュベーターより資金調達を実施
- ⇒2025年 大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン「ウェルネスを実現するテクノロジーと空間」〜ココロとアタマの健康を目指したオフィス〜に出展

● 有限会社ヴァンテック(栗東総合産業株式会社)

- ⇒2024年 独立行政法人国際協力機構 中小企業・SDGs ビジネス支援事業にテーマ「水産養殖場汚泥リサイクルビジネス化ニーズ確認調査(調査国:ベトナム)」で採択

● 株式会社Air Business Club

- ⇒2023年 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラムにテーマ「化石燃料消費量25%削減を実現する輸送ルート導出AIの開発及び荷台アドレス管理法との融合による高効率物流プラットフォームの構築」で採択(3億円以上/2年間)

● 株式会社Spacewasp

- ⇒2025年 しがぎんイノベーションアワード野の花賞2025にて優秀賞を受賞
- ⇒2026年 J-Startup CENTRALに選定

● 株式会社ノベルジェン(長浜バイオ大学発ベンチャー)

- ⇒2024年 農林水産省 中小企業イノベーション創出推進事業(フェーズ3基金)にテーマ「日本産冷凍生食用カキの品質向上と輸出増加を目的とした、カキの「短期肥育システム」と「流通DXプラットフォーム」の開発・実証」で採択(12.47億円/5年間)
- ⇒2025年 大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン Resona Mirai Color ~夏~ミライのメトロポリスに出展

● 株式会社ベホマル(立命館大学発ベンチャー)

- ⇒2024年 立命館ソーシャルインパクトファンドより資金調達を実施
- ⇒2024年 滋賀テックプランター試作支援補助金に採択
- ⇒2024年 滋賀県近未来技術等社会実装推進事業補助金スタートアップ枠にテーマ「革新的材料「バイオマスCO₂吸収材」の評価方法の確立と、それを用いた資源循環装置の開発」で採択
- ⇒2025年 大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン Resona Mirai Color ~夏~ミライのメトロポリスに出展

● 株式会社MoterAI(立命館大学発ベンチャー)

- ⇒2025年 令和7年度成長型中小企業等研究開発支援事業(GO-TECH事業)にテーマ「AIエージェントと電磁気・熱連成解析による誘導加熱コイルの自律的3次元設計最適化システムの研究開発」で採択

● 株式会社レナートサイエンス(京都大学発ベンチャー)

- ⇒2025年 大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン Resona Mirai Color ~春~ミライの医療に出展

開催日 2025年7月26日(土) 会場 しがぎんホール

当日スケジュール

12:30 -	開場
13:00-13:45	開会挨拶・基調講演
13:45-16:20	9チームのファイナリストによる プレゼンテーション
16:30-17:30	審査時間 第8回滋賀ジュニアリサーチグラント授与式
17:30-18:30	審査結果発表および表彰式
18:50 -	情報交換



ファイナリスト

1 株式会社Spacewasp 田寺 将樹

地球上のあらゆる植物から
未来の新たな内装のインフラを構築する

様々な産業から排出される植物廃棄物から植物由来の内装空間(内装、家具、建材)を製造・販売する企業だ。作れる人がいない内装業界において、自動で空間を作る仕組みと、何度も作り変えられる循環型内装で、未来の新たな内装インフラを創出し、ホテル・オフィス・店舗等の内装が必須な事業者へ内装空間を提供する。

東洋紡賞

滋賀銀行賞

2 株式会社未病マーカー研究所 岡田 隆彦

手の平サイズの尿検査器で
ヘルスケアの新概念の構築

少子高齢化が急伸する我が国において健康寿命の延伸が注目されている。健康は自らの努力でつかみ取るものであり、弊社は健康に深く関係する腸内環境を尿検査により数値化し、見える化すると共に、被験者の生活行動を分析し将来の不健康リスクを軽減するデータを社会に提供することをテーマとする。

3 TSTジャパン株式会社 古田 兼三

環境IoTセンサー(雨量と積雪)DX化で
社会課題解決

様々な環境センサーが普及しているが、簡単な設置+正確+安価な積雪計と雨量計がない。電源工事、設置基礎工事が不要なIoTデバイスで、観測地点を大幅に増やし細かな地域単位で実雨量、積雪を遠隔監視する。

4 株式会社虫秘茶 丸岡 毅

耕作放棄地を活用した「虫のフンのお茶」
生産モデルの実証実験

本試作開発では、耕作放棄地に自生(半)野生化している在来植物を活用し、それらを特定の昆虫に食べさせて得られる糞を原料とする新規飲料「虫のフンのお茶(虫秘茶)」の生産モデルの実証を行う。実施地域は滋賀県内の耕作放棄地とし、飼育対象となる昆虫は、大型ガ類幼虫とする。

東レ賞

関西みらい銀行賞

5 ディナレッジ株式会社 柴坂 仁志

AI技術活用による
「配送割り振り・ルート」の自動最適化

AIと階層的クラスタリング手法で配送ルートを実証最適化し、CO₂排出削減と物流資源効率化を実現するアプリケーションの開発。

6 JellyClean 長浜バイオ大学 清水 正宏

クラゲと築く海洋ゴミ回収生態系

ミズクラゲの自然な遊泳・摂餌行動を活かし、クラゲ自身に負担をかけずにマイクロプラスチックを回収する共生型の海洋浄化手法である。

京セラ賞

SCREEN賞

7 パッとSERS 滋賀県立大学 田中 康暉

だれでも！どこでも！かんたん！
ラマン散乱増強基板

毒物等の検出方法として利用されている「ラマン分光法」はその感度が低いことから測定に制限があり実用性が低いことが課題である。そこで、電解めっき法で銀ナノ構造体を作製することで、ラマン散乱分光法の高感度化が可能となった。

8 Memorial Compass 滋賀医科大学 松山 峻大

AIを用いて、認知機能が低下した
患者さんの意思疎通を支援する

認知機能が低下した患者さんの会話のつまずきや、思いついた内容が言葉として出てこない課題に対して、AIを用いてリアルタイムで会話支援・記憶想起支援するシステムを開発し、認知症に罹患する前の早期支援に利用する。

SHIGA賞

9 勾玉形風車の社会実装 立命館大学 吉岡 修哉

勾玉形風車を実現する
屋根上での風力発電

勾玉形(まがたまがた)風車を用いて、発電用風車の設置場所として手つかずの市場である「屋根上」を活用する風力発電事業を行う。勾玉型風車は従来の風車よりも小型で効率的に発電できるため、これを実現できる。

最優秀賞

フォーカスシステムズ賞

パートナー企業



関西みらい銀行



KYOCERA



滋賀銀行

SCREEN

TOYOBO
Beyond Horizons

TORAY

Focus Systems

連携企業求む！滋賀から世界を変える仲間たち

日常をCO₂回収スポットに ——機能性素材で広げる環境貢献の共創モデル

株式会社ベホマル

[WEB] <https://www.behomal.co.jp/>

代表取締役社長 西原 麻友子氏

第8回滋賀テックプラングランプリ(2023年度)ファイナリスト

最優秀賞

関西みらい銀行賞

東洋紡賞



プラスチックに混ぜ込んで使用するバイオマスCO₂吸収材「DACブラ®」の粉末



「DACブラ®」が混ぜ込まれているプラスチック製の定規



地域の間伐材の端材にベホマルのCO₂吸収素材を混ぜ込んでつくられた国産ストランドボード

株式会社ベホマルは、身近な製品を通じて大気中のCO₂を吸収できる仕組みを社会に実装するスタートアップだ。プラスチックに混ぜ込んで使用するバイオマスCO₂吸収剤「DACブラ®」を研究・開発し、粉末やペレットとして提供している。現在は、滋賀県内企業との連携を軸に、地域内での製造・製品化体制の構築に取り組む。桑原組らと共同でCO₂を吸収・固定する国産木質建材「DAC ストランドボード」の開発を進めるなど、地域共創型の事業展開が広がっている。また、県内成形加工企業との連携強化も視野に入れる。その一方で、社会実装を加速させる取り組みとして、定規やコップなどの最終製品展開も行う。これらは企業の環境配慮型ノベルティや実証用途として活用され、環境価値を“使いながら伝える”モデルとして導入企業との共創が進んでいる。さらに靴メーカーと連携した材料開発も進行中で、CO₂吸収にとまらない新たな機能性の可能性も見えてきた。こうした取り組みを通じ、環境価値を可視化する製品づくりに挑む企業との連携を広げていく。

滋賀を物流の中継拠点へ ——荷物の「座席」管理で共同輸送を再設計

株式会社 Air Business Club

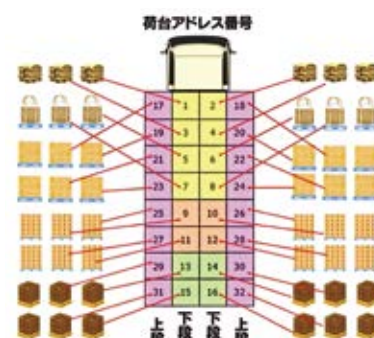
[WEB] <https://air-bc.com>

代表取締役 大堀 富生氏



株式会社 Air Business Club は、トラックコンテナ内の荷物の「座席」を管理する特許技術を軸に、企業が共同で使える物流の仕組みづくりに取り組むスタートアップだ。荷物をパレット単位で最適に配置することで、トラック1台あたりの積載率を高め、積み替えや待機時間の削減を実現する。工業集積が厚く、多くの製造業や卸業者、生産拠点が集まる滋賀では、各社が個別最適で配送を組むだけでは、ドライバー不足や積載率の低下、物流コストの上昇に対応しきれない。そこで同社は、県内企業の荷物をミルクラン方式（共同巡回集荷）で集約し、幹線輸送へつなぐ仕組みづくりを進めている。現在は、荷物の積み替えや配置管理の技術を強みに、大手物流事業者が進める共同中継輸送も踏まえながら、滋賀での実装可能性を具体化している。これにより、輸送効率の向上やCO₂排出削減に加え、県内企業が共同で物流基盤を活用する連携モデルの構築を狙う。今後は、滋賀県や支援機関、メーカー・サプライヤーとの連携を広げ、地域発の共同物流として展開していく考えだ。

荷台アドレス管理システム



トラック単位の管理から荷台をパレット単位(座席単位)で管理し、位置・内容を可視化。標準化・共有により他システムと座席単位連携し、物流を最適化。



空いた座席(スペース)を活用し、追加の荷物を積み込む様子。トラック単位から「座席単位」へと物流を最適化する取り組み。



複数のサプライヤーを巡回して集荷する「ミルクラン方式」。個別輸送をまとめることで、輸送回数の削減と積載効率の向上を実現する。

ドラゴンアグリ

龍谷大学 玉井 鉄宗

琵琶湖を中心とした循環型農業の実現

- 課題** 琵琶湖の水草問題の解決と、水草堆肥を利用した作物の収量増加の両立。
- 技術** 効率的に窒素肥料を生成する、農業用「流水プラズマ発生装置」。
- 連携** 装置の部品製造や組込開発ができる県内企業、実証を行う農業法人。



株式会社虫秘茶

京都市／京都大学 丸岡 毅

「虫のフンのお茶」生産モデルの実証実験

- 課題** 滋賀県内の耕作放棄地の増加問題と、自生する在来植物の資源化課題の解決。
- 技術** ガル幼虫の消化プロセスを応用した、未利用植物資源の製茶技術。
- 連携** お茶の加工設備を持つ食品メーカー、特産品開発に関心のある企業。



農匠ナビ株式会社

彦根市 小川 諭志

環境に優しく収量も増える 稲作自動水管理

- 課題** 水田からのメタン排出削減と、稲作の節水・労力削減・収量アップの実現。
- 技術** メタン排出を最大7割削減する、稲作向けの自動水管理装置。
- 連携** ハードの組み立て等や量産を担える企業。海外展開を目指す共同技術開発パートナー。

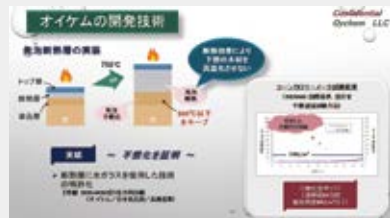


オイケム合同会社

大津市 奥本 寛

発泡断熱技術を用いた木材の 不燃化と消火技術の開発

- 課題** 木造構造物における火災リスクの低減と山火事など難消火事案に対する新しい方法を作りたい。
- 技術** 木材等の耐火性能を劇的に向上させる技術、発泡断熱技術を用いた新たな消火方法
- 連携** 県内の工務店や住宅メーカー、防災に関心のあるインフラ系企業。



株式会社ノベルジェン

長浜市／長浜バイオ大学 小倉 淳

微細藻類を用いて滋賀県発の 水・炭素・資源循環型社会の構築

- 課題** 水資源問題、地球温暖化問題、食糧問題(食糧安全保障)
- 技術** 微細藻類の力をAIとバイオ技術で最大化する「Algal Bloom Capture技術」とそれを具現化するシステム「Bloomo®」
- 連携** 下水排水処理、工場及びビル等の炭素循環型水浄化を行う事業者、陸上養殖や水産分野に新規参入する事業者。



有限会社VANTECH(東総総合産業株式会社)

栗東市 井之口 哲也

メコンデルタ サーキュラーエコノミー事業

- 課題** メコンデルタの一次産業の課題解決
- 技術** 水産養殖現場にて、発生した汚泥をその場で減容化処理し再資源化する技術
- 連携** 一次産業の生産性向上に関する技術、環境改善技術



ベーシック株式会社

大津市 佐々木 智

貧困層の飲料水不足を救う浄水システム

- 課題** 貧困地域の劣悪な飲料水問題の解決。高コストで維持困難な現状を打破する。
- 技術** 浄水逆流洗浄により繰り返し再生可能で、現地維持できる装置。
- 連携** インフラ提供や、持続可能な水環境構築に協力いただける企業。



株式会社未病マーカー研究所

大阪市 岡田 隆彦

「手の平サイズの尿検査器」で 今と未来の健康が見えてくる！

- 課題** 生活習慣が作る健康リスクを手軽にセルフチェックし、将来の健康リスクを軽減する。
- 技術** 腸内環境を尿から数値化・見える化して情報提供する、手の平サイズの小型検査器。
- 連携** 小型検査器の製造電子企業や、健康経営をサポートする企業との連携。



株式会社Medpreneur

大津市 高畑翔吾

構音障害トレーニングアプリ

- 課題** 構音障害の患者さんが退院後にリハビリを継続できていない。
- 技術** 構音障害を定量化するAI技術を実装したスマホアプリ
- 連携** リハビリアプリを製造販売している企業



株式会社イヴケア

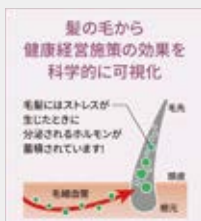
大津市／滋賀大学 五十棲 計

毛髪が健康を予測する新社会の実現

課題 自覚しにくい心身の異常やストレスの蓄積状態を客観的に把握できない課題。

技術 毛髪成分から自己のストレス状態を評価し、未来の健康も予測。

連携 ストレス管理を導入したい企業、分析の自動化機器メーカー等。



下水道検査革命

立命館大学 加古川 篤

管内点検装置による下水道インフラDX

課題 人間が物理的に入り込めない小口径下水道管の点検・老朽化対策の課題。

技術 内径100ミリ以下の曲がりくねった配管内を走行可能な世界最小級ロボット。

連携 ロボットの精密部品加工、防水性向上、制御システム改良などを含めた開発全般を担える製造業。



株式会社 Spacewasp

大津市／岐阜市 伊勢崎 勇人

地球上の植物から未来の内装インフラを

課題 内装業界の施工手間・人手不足問題と、植物廃棄物の未活用問題の解決。

技術 植物廃棄物から自動で内装空間を作る、循環型の内装システム。

連携 植物廃棄物の提供元、店舗等、内装を必要とする事業者。



勾玉形風車の社会実装

立命館大学 吉岡 修哉

勾玉形風車が実現する屋根上での風力発電
～世界中の屋根上を風車で埋め尽くす～

課題 設置場所が限られる大型風力発電に代わる、建物の屋根上の有効活用。

技術 従来の風車より小型で、効率的に風をとらえる独自の勾玉形風車。

連携 風車ブレードの製造、発電システムの設計、屋上で発電実証を行いたい企業。



ReFLight

立命館大学 小林 洋一

難分解性化学物質を資源へ変える
光化学反応

課題 フッ素化合物は極めて安定で分解が困難であり、リサイクルが難しい課題。

技術 汎用光源を用いて、フッ素化合物を資源循環可能にする新材料。

連携 リサイクル技術の発展、循環型社会の構築に協力いただける企業。



ディナレッジ株式会社

彦根市／滋賀大学 柴坂 仁志

配送割り振り・ルートの自動最適化

課題 物流業界の人手不足対策としての、ルートの非効率性や資源ムダの削減。

技術 AIと階層的クラスタリングによる、配送ルート割り振りの自動化。

連携 配送業務を行う物流、自社配送網を持つ小売、システム保守企業。



株式会社 tiwaki

草津市 阮 翔

Decentralized AI

課題 現代のAI開発が、膨大なデータ、高度な技術や高額な計算資源に依存する課題。

技術 大規模リソース不要で、高プライバシーで動作するエッジAI技術。

連携 製造監視等にAIを低コストで導入したい企業、ハードウェア企業。



合同会社 T-Forest

京都市 福森 隆寛

音響・振動・生体信号等の解析による
異常検知技術の開発

課題 死角や暗所など、視覚(カメラ)情報が機能しない環境での異常検知。および、熟練者の「耳」に頼っていた異常判定の自動化。

技術 異常音の特定や予兆検知など、現場の課題や環境に合わせ、最適な信号処理アルゴリズムや解析モデルをオーダーメイドで構築。

連携 自社製品に「聴覚」を持たせたいメーカー、施設保守の自動化を目指す企業、特定の音・信号解析に関する課題解決を希望する共同開発先。



SOIPIX

滋賀大学 三井真吾

放射線検査・分析を高度化する
「SOIピクセル検出器」

課題 放射線を用いた材料分析や非破壊検査では、装置が高価で空間分解能も不足。

技術 SOI技術を用いた、高精細かつ安価で汎用的な放射線検出器。

連携 本検出器を用いた製品開発、データ解析手法を共同開発する企業。



第11回 滋賀テックプラングランプリ

新しい技術と一緒に世の中に実装していく
パートナーを募集しています！



Point 1

新規事業のタネが見つかる

スタートアップが解決に挑む課題やそのための技術との出会いから、次の事業の可能性が広がります。

Point 2

挑戦のスピードが上がる

社外の研究者やスタートアップとの連携によって、自社だけでは進みにくい挑戦が動き出します。

Point 3

次の時代を担う人材が育つ

新しいテーマに関わることで、社員の視野・行動力・事業開発力が高まります。

Point 4

挑戦する会社の姿勢を発信できる

地域や社会に向けて、新しい価値づくりに取り組む企業姿勢を発信できます。



滋賀発成長産業発掘・育成
コンソーシアム

<https://shiga-consortium.com>

お問合せ先

滋賀県 商工労働部 イノベーション推進課
次世代産業創出係

TEL : 077-528-3601 / Mail : conso@pref.shiga.lg.jp

株式会社リバネス 地域開発事業部

TEL : 03-5227-4198 / Mail : shiga@lnest.jp